

活動情報

取組項目 生物の生息状況の把握

組織名 埼玉農地環境保全会

那須 管内

那須塩原 市

活動目的：生きものの生息状況を確認し自然環境の大切さを学ぶ

活動内容：田んぼ・水路の生きもの調査

平成21年7月5日(日)、那須塩原市埼玉において生き物調査が行われました。

当日は、初夏を思わせる強い日差しの中、埼玉農地環境保全会と地元の親子97名が参加して調査を行いました。田んぼまわりの生きもの調査隊として、親子を二つのグループに分け一斉に調査開始です。最初はなかなか捕まえることができませんでしたが、次第に勘所を掴み悪戦苦闘しながらも、トウキョウダルマガエル・ニホンアカガエル・ニホンアマガエルを確認することができました。その他にも、前日に水路と田んぼに仕掛けておいたウケを引上げて調査したところ、ウケの中にはドジョウ72匹、が入っていました。

今回はアドバイザーをお願いし、今までには確認できなかった生きものはいないか調査してもらったところ、ハグロトンボ・アカネトンボ・トビケラ・カワニナ等の生息が確認できました。

調査の後は、捕獲した生きものの名前や特性について、アドバイザーの説明を真剣に聞いていました。



続いて、田んぼから採取した土を流水で綺麗に流し、白いパレット上の残留物に水を混ぜて微細生物を観察しました。目を皿のようにして見つめると、クネクネとコミカルに動き回るイトミミズやユスリカを確認することができました。あまりにも小さな生物なので、1匹見つけるごとにやんやと歓声があがり無我夢中で探していました。

今回の調査で確認できなかったものなどは、パネルや配布した下敷きを眺めてそれぞれ学習していました。

田んぼやその周辺には多種多様な生き物が生息し、生き物が多いことは豊かな環境が守られているということを理解し、生き物調査は大成功のうちに終了することができました。

